

第24回 運営・研究部会

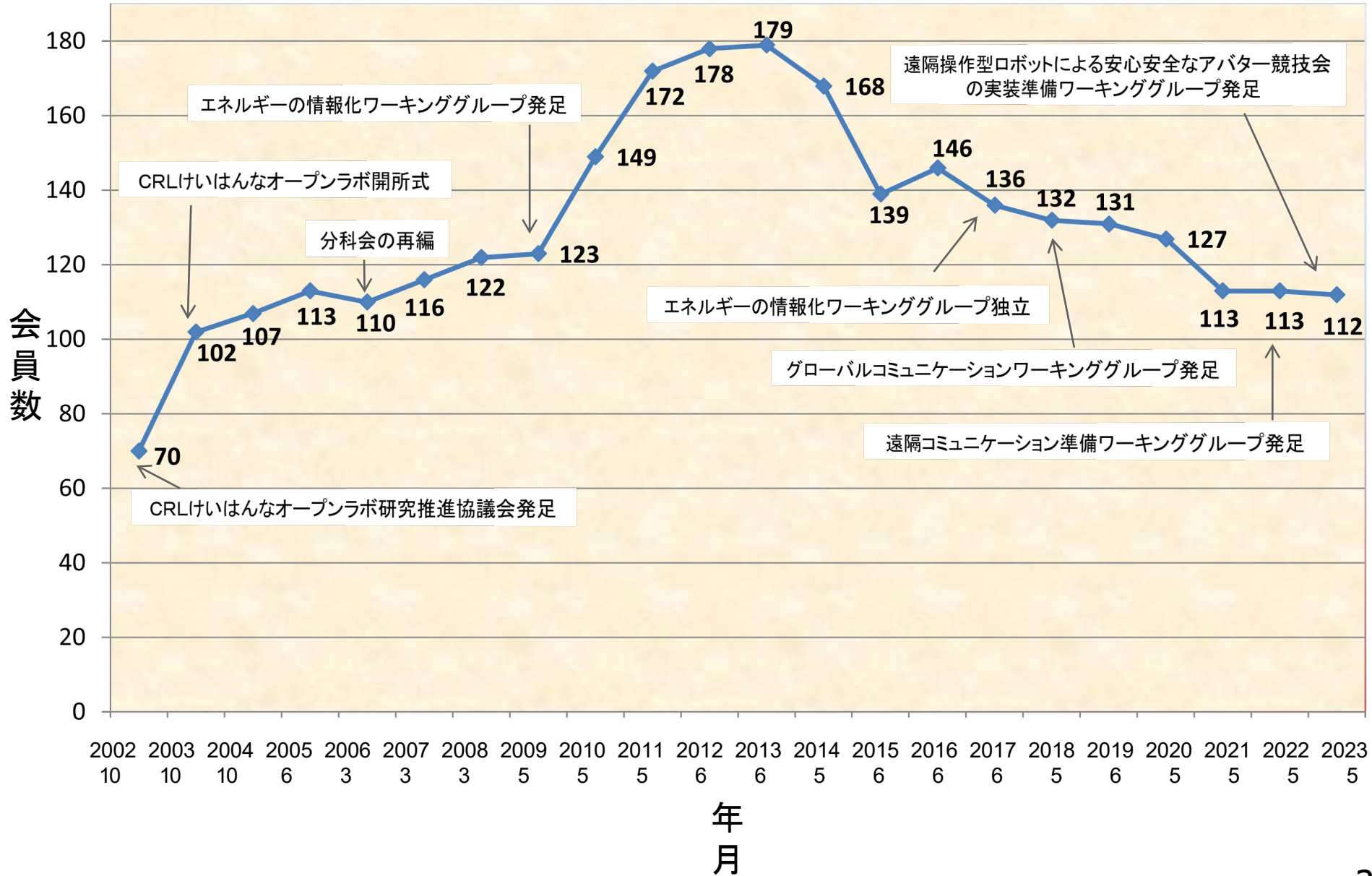
2022年度活動報告・2023年度活動計画(案)、
および、オープンラボ利用状況

2023年5月17日

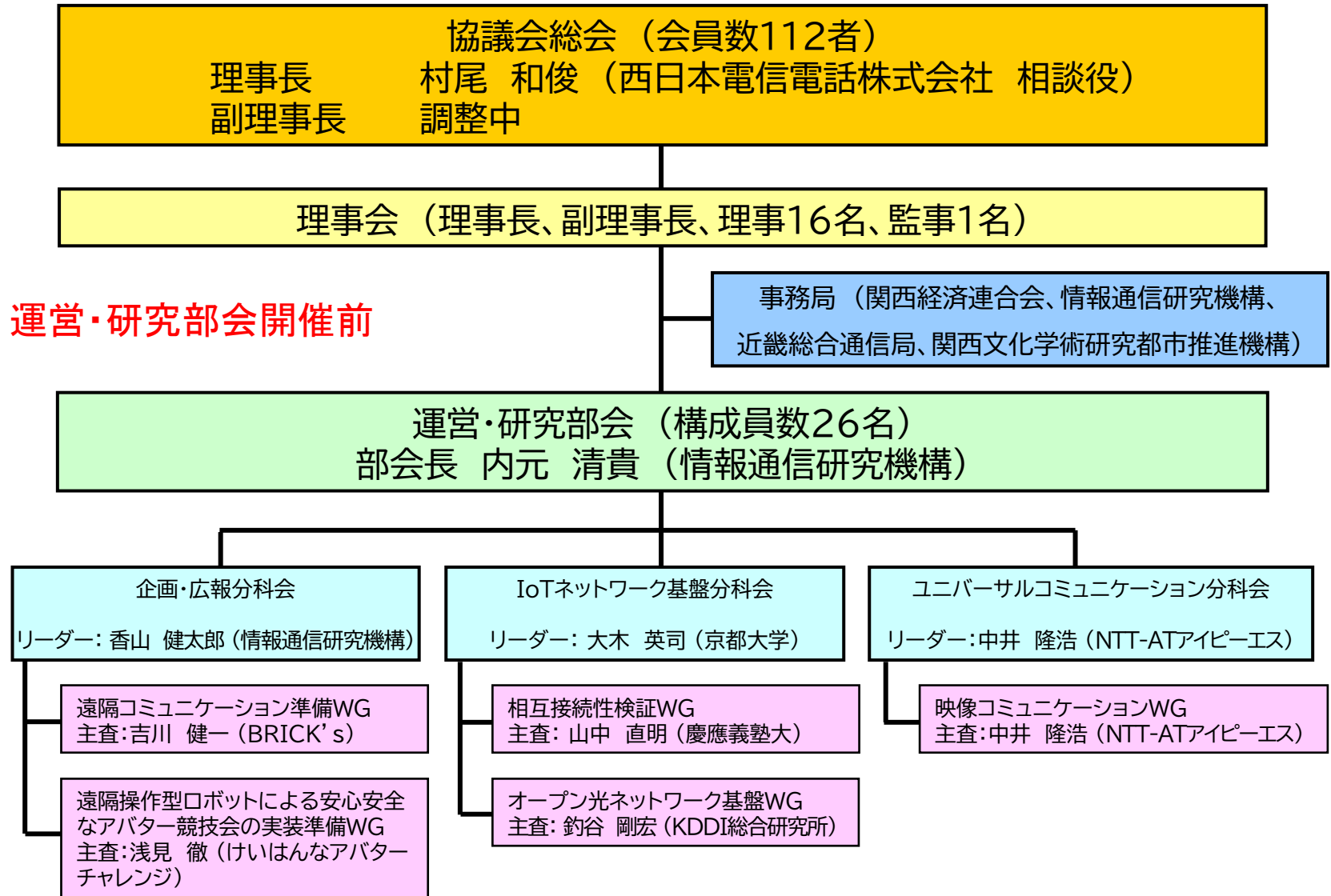
2022年度活動トピックス

- 第21回総会はオンライン開催とし、2021年度活動報告案および決算案、協議会設立20周年記念シンポジウムの実施、WG活動活性化のための提案募集の実施、遠隔コミュニケーション準備WGの支援策を盛り込んだ2022年度活動方針案および予算案について決議がなされた。議事に続き、特別講演として、クラスター株式会社 代表取締役CEOである加藤直人氏より、「メタバースが実現する未来」という題目でご講演をいただいた。
- けいはんなR&Dフェア2022(10月6日～7日)では、オンラインで実施された展示・ショートプレゼン、およびATRオープンハウス会場を一部間借りしてのリアル展示に、「8K分身通信(遠隔身体拡張通信)」を出展、パネルや実演デモ等で研究活動紹介を行った。
- WG活動活性化のため、「新たなWG設置に向けた、または、既存のWG活動を加速させる構想と、その活動計画の提案」を募集、3件の応募があり、以下の2件を採択した。
 - ・遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装準備WG【新規WG】
 - ・遠隔コミュニケーション準備WG【既存WG】
- 協議会設立20周年記念シンポジウム「現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会を展望する～サイバネティック・アバター×サイバーセキュリティの活用により可能となるエコシステム～」をリアル開催(2023年3月6日)、参加者は73名であった。

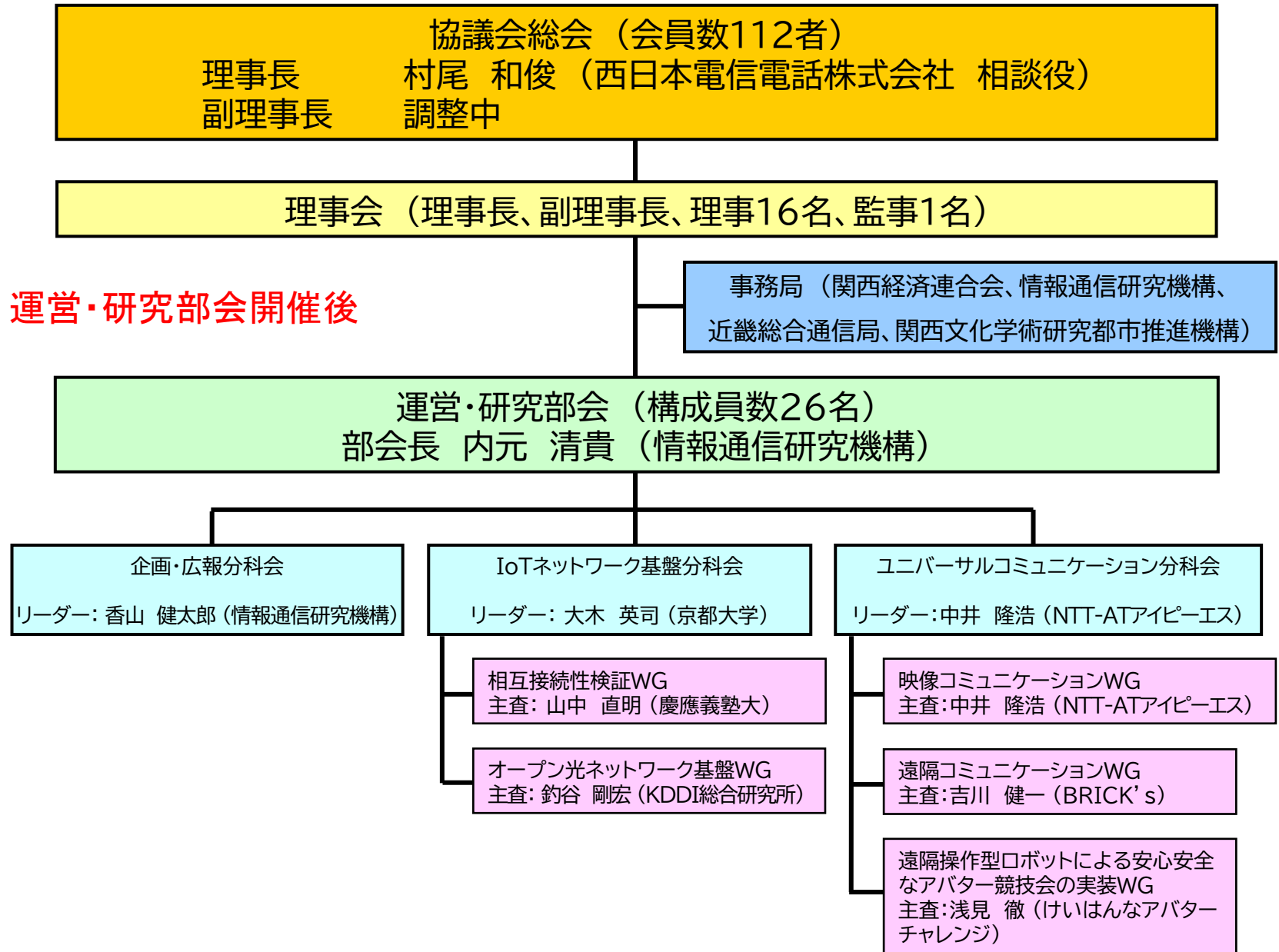
会員数の推移



けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会体制図



けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会体制図



分科会参加状況（2023年5月16日現在）

IoTネットワーク基盤分科会	
分科会（のべ人数）	37
相互接続性検証WG	25
オープン光ネットワーク基盤WG	12

ユニバーサルコミュニケーション分科会	
分科会	5
映像コミュニケーションWG	5

企画・広報分科会	
分科会（のべ人数）	17
遠隔コミュニケーション準備WG	7
遠隔操作型ロボットによる安心安全な アバター競技会の実装準備WG	10

2023年度活動計画(案)

2022年度に実施した協議会活動活性化の議論を踏まえ、2023年度は、以下の施策の実施に向けた検討を行う。

- 1) 2030年に向けた協議会のビジョン策定、及び、このビジョンを実現するための具体的な施策の立案
- 2) 2025年の大阪・関西万博にあわせて、けいはんなでどんなイベントを実施するか、そのイベント実施に向けてどんな活動を展開していくかの企画立案
- 3) ワークショップ開催等による、情報通信分野の新事業・新産業創出の推進等
- 4) 地域の研究開発活動との連携強化
 - けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアムなど

2023年度のスケジュール(案)

	2023年度 4月	7月	10月	1月	2024年度 4月
総会	 第22回(6/5、けいはんなプラザ)				 第23回(5~6月頃予定)
運営・研究部会	 第24回部会(5/17、オンライン開催)				 第25回部会(4~5月頃予定)
分科会	 企画・広報分科会: ビジョン策定の検討、具体的施策案の検討 2025大阪・関西万博にあわせて実施するけいはんなイベントの検討、 ワークショップ開催等によるICT分野での新事業・新産業創出の推進等  研究系分科会: 研究開発プロジェクトの推進等				
出展、シンポジウム等			 けいはんな R&Dフェア2023 (10/6~7)	 協議会主催 シンポジウム	

2022年度オープンラボ施設利用状況

課題名	研究機関	人数	研究概要
自動車運転行動情報センシング評価システムの長時間実業務仕様化とその全国的使用による交通安全情報マップの構築	株式会社 ATR- Sensetech	5	自動車運転行動情報センシング評価システムのセンサ高度化・安定化およびソフトウェア改造による長距離輸送バス・トラックなどに適用可能な長時間実業務仕様化を進めるとともに、その全国的使用による交通安全情報マップの構築を目指したデータ階層化概念の構成とデータ集積技法を開発する。
二面コーナーリフレクタアレイ(パリティミラー)の製造方法の確立及び応用空中映像システムの開発	株式会社パリティ・イノベーションズ (NICT発ベンチャー)	3	明瞭な裸眼空中映像表示システムの実現を目的として、光学素子の性能向上および応用システム開発を行う
Beyond5G時代を見据えたEdge Computingを備えたIoTデバイスとクラウドとの最適な連携・分散環境選択方式の研究開発	株式会社 アットフィード	2	Beyond5G時代を見据えたEdge Computingを備えたIoTデバイスとクラウドとの安心・安全な連携・分散環境選択方式の研究開発
XR遠隔コミュニケーション	株式会社 BRICK's	6	サイバー、フィジカル、またその融合した空間において、遠隔コミュニケーションを実現するための課題解決と実装技術について研究開発を行う。
4	4	16	合計